

対象製品

| 名称 | 概要 |
|----------------------------|---|
| Red Hat OpenStack Platform | 仮想マシンやネットワークの管理など、クラウドの運用に必要な機能がそろったクラウド管理基盤ソフトウェアです。マルチハイパーバイザに対応し、ITリソースを統一されたAPIで操作できます。 |

関連商品

| 名称 | 概要 |
|--|--|
| BladeSymphony | システムの仮想化、統合管理、省電力運用など、先進の技術でビジネス環境の変化に即応する、ブレードサーバを核としたITプラットフォームです。OpenStackと組み合わせることで、高信頼なクラウド基盤の効率的な運用を実現します。 |
| HA8000 | OpenStackに対応したPCサーバです。効率のよい運用と導入のしやすさで、コスト削減とビジネスのスピードアップを支援。省エネルギーや省スペースなどの環境対応も充実し、安定したシステム稼働を支える高可用性を備えています。 |
| Hitachi Storage Solutions | 高度な処理能力と拡張性、信頼性で「止まらないクラウド」を実現するHitachi Virtual Storage Platform G1000をはじめとする製品群です。豊富な経験と実績に裏付けられた品質で、OpenStack環境での安定したストレージ基盤を提供します。 |
| Red Hat Enterprise Linux | 10年以上の間、オープンソースプロジェクトとして全世界のユーザーによりテスト・開発され続けてきたLinuxをベースとした、エンタープライズ分野向けの堅固で高性能なオペレーティングシステムです。米国Red Hat社とのグローバルアライアンスを基盤として、日立独自の信頼性付加機能(Linux環境強化サポートオプション)など、ミッションクリティカル適用のためのソリューションを提供します。 |
| JP1/Automatic Operation | 運用手順書を確認しながら手動で実行していた煩雑なオペレーションを自動化します。日立が培った運用のノウハウをテンプレートとして提供し、容易な導入を実現。OpenStack環境での仮想マシンの各種設定やバックアップなどに役立てられます。 |
| JP1/Service Portal for OpenStack | OpenStackで構築・運用している企業内クラウドの利用者向けに、直感的で操作性の高いポータルを提供します。統合システム運用管理JP1で培ったノウハウを生かし、利用者の実用ニーズに対応。利用者、管理者双方の運用負担を軽減し、円滑なクラウド運用を支援します。 |
| JP1/Performance Management JP1/Integrated Management | クラウド基盤を支えるサーバや仮想環境 (VMware [®] 、KVM、Microsoft [®] Hyper-V [®]) などの稼働情報を収集し一元管理することで、安定したシステム運用を支援します。また、イベントをリアルタイムで監視し、障害発生時の原因箇所の特定からその対処までを迅速にサポートします。 KVM: Kernel-based Virtual Machine |
| Hitachi Block Storage Driver for OpenStack | OpenStack環境で日立ストレージの操作 (LU作成/削除、LUコピー、ホストグループへのマッピングなど) を実行するドライバです。高性能・高信頼な日立ストレージの機能を利用し、I/O高速化やコスト削減を実現します。 LU: Logical Unit |
| 日立サポート360 | お客様の仮想環境を構成するサーバ、OS、ミドルウェア製品、ストレージ製品、ネットワーク製品をワンストップでサポートします。専門技術者で構成されたサポートチームが迅速かつ確かな復旧と対策を支援。米国Red Hat社とのグローバルアライアンスを基盤として、OpenStackに対応したサポートサービスを提供します。 |

OpenStack向けサービス

| サービス | 概要 |
|-----------|--|
| テクニカルサービス | OpenStackを利用したクラウドの導入に向けたコンサルテーションから、設計・構築支援、OpenStackの媒体提供、動作評価の代行まで、お客様のクラウド環境をトータルにサポートします。 |
| 検証支援サービス | 日立による検証済みの推奨構成や、お客様へのヒアリング結果から設計した構成で、日立がお客様と共同でPoCを実施します。導入前に、通常2週間～3カ月間程度、OpenStackをお試しいただけます。 |

・HITACHI、BladeSymphony、JP1は、株式会社日立製作所の商標または登録商標です。
 ・Linuxは、Linus Torvalds氏の日本およびその他の国における登録商標または商標です。
 ・MicrosoftおよびHyper-Vは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
 ・OpenStack[®]の文字表記とOpenStackのロゴは、米国とその他の国におけるOpenStack Foundationの登録商標/サービスマークまたは商標/サービスマークのいずれかであり、OpenStack Foundationの許諾を得て使用しています。日立製作所は、OpenStack FoundationやOpenStackコミュニティの関連企業ではなく、また支援や出資を受けていません。
 ・Red Hatは、米国およびその他の国でRed Hat, Inc.の登録商標もしくは商標です。
 ・その他記載の会社名、製品名などは、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。



私たちは株式会社日立製作所 システム&サービスビジネスとして環境マネジメントシステムに関する国際規格ISO (国際標準化機構) 14001:2015の審査を受け、登録され、製品・サービスのライフサイクル全般における環境問題に積極的に取り組んでいます。
 登録番号:EC02J0400 登録日:1995年7月19日
<http://www.hitachi.co.jp/it-it14001/>

- カタログに記載の仕様は、製品の改良などのため予告なく変更することがあります。
- 製品の色は印刷されたものですので、実際の製品の色調と異なる場合があります。
- 動作環境 (プラットフォーム対応、仮想環境対応) については、製品情報サイトで最新情報をご確認ください。
- 本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規制ならびに米国の輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認のうえ、必要な手続きをお取りください。
 なお、ご不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。

製品に関する詳細・お問い合わせは下記へ

■ 製品情報サイト
<http://www.hitachi.co.jp/soft/openstack/>

■ インターネットでの問い合わせ
<http://www.hitachi.co.jp/soft/ask/>

■ 電話でのお問い合わせは HCAセンターへ
 0120-55-0504 受付時間: 9:00~12:00、13:00~17:00 (土・日・祝日・弊社休日を除く)
 携帯電話、PHS、一部のIP電話などフリーダイヤルがご利用いただけない場合は、ダイヤルイン: 045-762-3059
 (通話料金はお客様のご負担となります)

株式会社日立製作所 ICT事業統括本部 サービスプラットフォーム事業本部

日立クラウド基盤ソリューション
 Red Hat OpenStack Platform
 + Hitachi IT Platform

HITACHI
 Inspire the Next

Red Hat OpenStack Platform + Hitachi IT Platform



OpenStack + 信頼の技術。

OpenStackの安定稼働を実現。 柔軟かつ高信頼なクラウドで、ビジネスを支える。

加速するグローバル化に対応するため、クラウドを利用する企業が急増しています。

そこで近年注目されているのが、OpenStack。

セルフサービスポータルを用いた迅速なクラウド環境の構築や、クラウド運用の自動化といった柔軟性が持ち味です。

さらに日立は、「Red Hat OpenStack Platform」に、長年積み重ねてきた独自の技術をプラス。

OpenStackのさらなる安定稼働を実現し、高信頼なクラウドソリューションを提供します。

企業を取り巻く変化への迅速な対応はもちろん、

止まらないシステムを追求することで、ビジネスを力強く支えます。

企業ニーズに対応した、クラウド利用者向けポータル JP1/Service Portal for OpenStack

OpenStackで構築・運用している企業内クラウドの利用者向けに、直感的で操作性の高いポータルを提供します。統合システム運用管理JP1で培ったノウハウを生かし、ダッシュボード、カタログ、ウィザード、承認プロセスおよび操作履歴などを備え、企業ニーズに対応。利用者、管理者双方の運用負担を軽減し、円滑なクラウド運用を支援します。

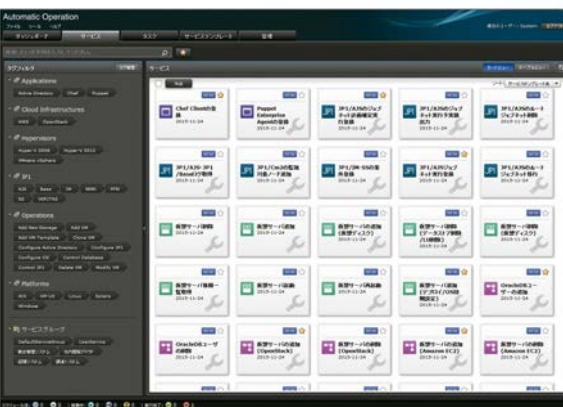


JP1/Service Portal for OpenStack ダッシュボード画面

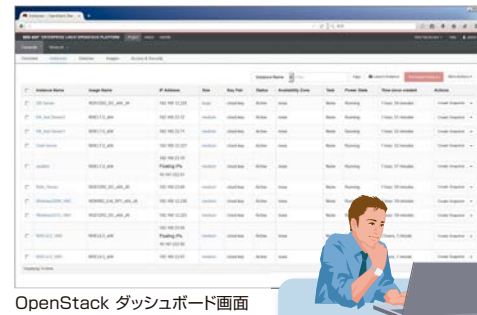
クラウド運用の複雑なオペレーションを自動化 JP1/Automatic Operation

運用手順書を確認しながら手動で実行していた煩雑なオペレーションや、複数マシンに対して行う同一操作、人の判断や操作が必要な処理など、自動化が困難とされてきたIT運用を自動化できます。

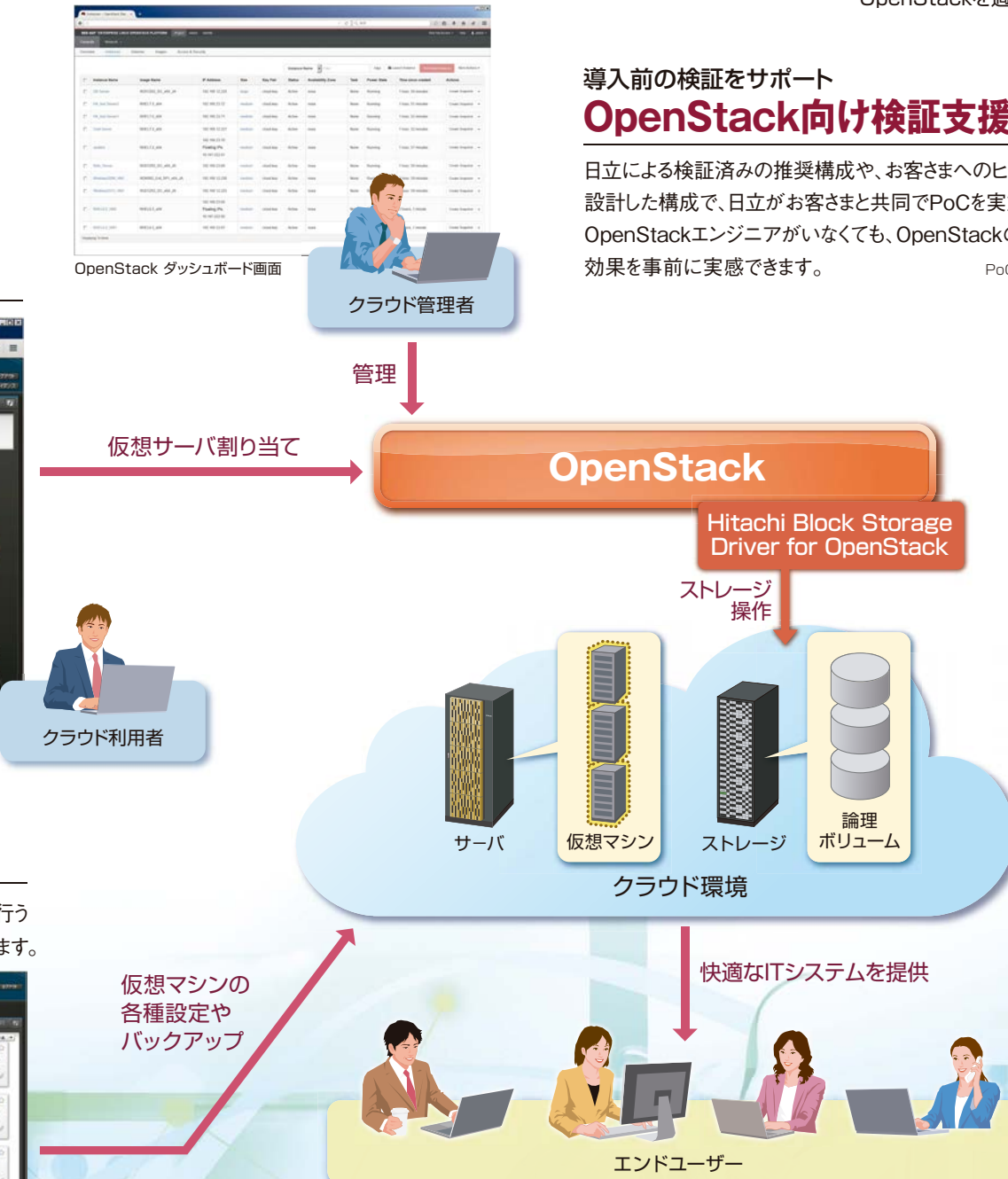
標準的な運用手順のノウハウをテンプレート化し、コンテンツとして提供。提供コンテンツや独自に作成したコンテンツを利用して、IT運用のオペレーションをエージェントレスで容易に自動化できます。OpenStack環境での仮想マシンの各種設定やバックアップなどの自動実行も可能です。



JP1/Automatic Operation サービス画面



OpenStack ダッシュボード画面



安定性・信頼性

実用性

豊富な実績

- Red Hat社との技術提携を生かし、顧客要件を満たすシステム構築や迅速な問題解決を支援します。(OpenStack向けテクニカルサービス、サポートサービス for Red Hat OpenStack Platform)
- OpenStackの安定化に向けさまざまな機能を提供し、高信頼なクラウドを実現します。(日立ストレージ用ドライバ Hitachi Block Storage Driver for OpenStack)
- 日立による検証済みの推奨構成を利用することで、安定性と信頼性を兼ね備えたOpenStackシステムを迅速に構築できます。
- OpenStackで構築・運用しているクラウド利用者の企業ニーズに合わせた、使いやすいポータルを提供。さらに、クラウド運用のオペレーションの自動化も支援します。(JP1/Service Portal for OpenStack、JP1/Automatic Operation)
- バックアップ取得や使用ディスクの追加にかかる時間を短縮し、業務への影響を最小限に抑えます。(日立ストレージ用ドライバ Hitachi Block Storage Driver for OpenStack)
- OpenStackの先進マーケットである北米で積み重ねた日立ストレージ用ドライバ Hitachi Block Storage Driver for OpenStackの実績を踏まえ、ソリューションを拡大しています。
- OpenStack FoundationにGOLDメンバーとして参画。OpenStackの安定稼働と高信頼化のための機能開発で貢献しています。
- 日立のエンジニア約6,000人が使用している社内向けクラウドシステムに、OpenStackを適用。実運用に基づいたノウハウを蓄積しています。



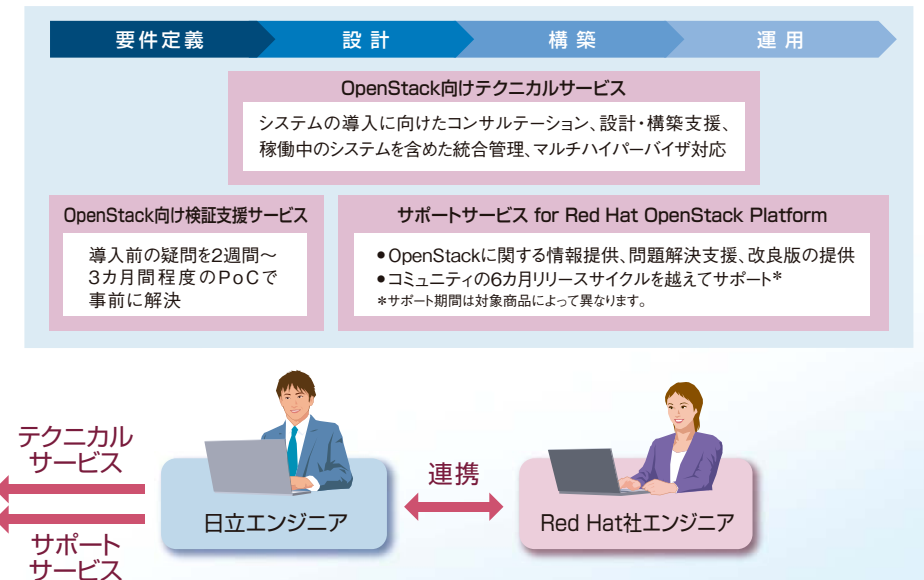
導入前の検証をサポート OpenStack向け検証支援サービス

日立による検証済みの推奨構成や、お客さまへのヒアリング結果から設計した構成で、日立がお客さまと共同でPoCを実施。お客さま先にOpenStackエンジニアがいなくても、OpenStackの使用感や導入効果を事前に実感できます。

PoC: Proof of Concept

クラウドの導入・構築支援 OpenStack向けテクニカルサービス

オープンソースならではの豊富な機能と拡張性を備えたOpenStackの構築を、日立が長年培ってきた技術力で支援。マルチハイパーバイザ環境を構築するほか、既存VMware環境を止めずにクラウドと統合するなど、お客さまの要件に合わせて、クラウド導入のためのコンサルテーション・設計・構築をサポートします。



ストレージの機能と連携し、すばやくディスクを管理 日立ストレージ用ドライバ Hitachi Block Storage Driver for OpenStack

OpenStackと日立ストレージの機能が連携することで、非同期コピー*によるバックアップの高速化や、ディスク容量の動的割り当てが可能。バックアップ時の業務停止時間の短縮や、効率的なディスク利用を実現できます。

*バックアップ元のデータのコピーが完了するのを待たずに、バックアップ元への読み書きを再開できます。

切り分けが困難なクラウド環境の問題にも、ワンストップで対応 OpenStack向けサポートサービス

導入ベンダーと連携し、お客さまのシステム規模や重要度に応じたサポートサービスを提供。日立サポート360のサービス体制により、OpenStack/ハードウェア/OS/ミドルウェアにわたる問題の切り分けから解決まで、日立がワンストップで対応します。